

審査項目

項目	審査の視点	配点
事業理解	・ 事業の目的や仕様書を踏まえ、具体的かつ的確な提案がなされているか。 ・ 各業務について具体的な実施方法が示され、実現可能な提案となっているか。 ・ 事業目的及び仕様内容を踏まえ、予算の範囲内で効果的な工夫があるか。	15点
事業 実施体制	・ 提案された業務を実施するための十分な人員が確保されているか。 ・ 事業の実施スケジュールが具体的に示されており、各業務について十分な期間が確保されているか。 ・ 過去に類似業務を受託した実績があるか。また、過去の類似業務の実績から判断して、本業務の効果的な実施が期待できるか。 ・ 県との連絡・協力体制が整えられており、県の意志・要望を事業に反映できる体制となっているか。	15点
個別業務 企画提案	1 外国人材受入環境向上のための企業内研修教材の制作 ・ 外国人材受入企業の従業員が理解、実践しやすい研修内容となっているか。 ・ 各企業において研修教材を活用するにあたって、適切な動画の長さ、構成になっているか。 ・ 具体的な研修内容・効果的な手法が提案されているか。 ・ テキスト・教材作成にあたっては、研修動画に即した内容となっているか。	15点
	2 外国人材向け「くまもと方言マニュアル」の作成及び配布・周知 ・ 医療・介護や農業分野など、方言が多用・常用される業種における場面を想定し、実用性が高い企画提案となっているか。 ・ マニュアルの対象となる方言等の収集、選定にあたっては、計画的なスケジュールとなっているか。 ・ 文字サイズ、イラストなど、マニュアルデザインは外国人材にとって理解しやすいものとなっているか。 ・ 配布先、送料等も含めてマニュアルの周知方法が考えられているか。	15点
	3 技能実習生＆特定技能×若者や地域住民「熊本で働く魅力発見」交流事業の実施 ・ 事前学習・交流会の内容は、「やさしい日本語」講座の実施や外国人材と日本人の交流など、交流促進に繋がるような内容になっているか。 ・ バスツアーについては、熊本の魅力を体感するとともに、「日本人の知人づくり」を促す企画が提案がされているか。 ・ 外国人材が若者や地域住民と交流する心理的ハードルを下げる内容となっているか。	15点
	4 業務の広報 ・ 制作した「企業内研修教材動画・テキスト」及び「くまもと方言マニュアル」について、広く広報・周知する方法が提案されているか。 ・ 「熊本で働く魅力発見」交流事業については、イベント終了後も、継続して自らのSNS等で本県イベントや熊本での生活について積極的に発信できる外国人材及び、外国人との交流に興味がある参加者を合わせて40名以上確保できるような効果的な広報・周知方法が提案されているか。	10点
	5 アンケート ・ アンケートの実施方法は適当であるか。 ・ 次年度以降の開催に向けた課題抽出や外国人材の熊本定着に繋がるきっかけ等が把握できるアンケート内容となっているか。 ・ アンケートの分析について具体的な手法が提案されているか。	5点
経済性	・ 企画内容に対して妥当な見積内容となっているか。 ・ 各経費について積算の根拠が示されているか。	5点
事業者の取組 (公告日現在)	・ 熊本県ブライト企業の認定を受けているか。	1点
	・ 障害者支援施設等からの物品及び役務の調達実績（当該年度又は前年度）があるか。	1点
	・ 事業活動温暖化計画書制度の対象事業者（義務及び任意）、エコアクション21、RE100、再エネ100宣言REActionのいずれかの認証等を受けているか。または、森林吸収量認証書の交付実績（当該年度又は前年度）があるか。	1点
	・ 熊本県SDGs登録制度に登録しているか。	1点
	・ パートナリーシップ構築宣言に登録しているか。	1点
		100点